

2024 年度冬季における沖曳網でのホンモロコ漁獲物調査

寺井章人・根本守仁

1. 目的

ホンモロコの適切な資源管理には正確な資源評価が必要不可欠となる。そこで資源評価を進めるための基礎資料とする目的で、産卵直前にあたる冬季の主要な漁法である沖曳網での漁獲物について年齢や体型を調査し、過年度の結果と比較した。

2. 方法

2025 年 1 月 14 日～2 月 21 日に琵琶湖北湖の沖合で沖曳網により漁獲されたホンモロコ 2,952 尾を対象に調査を実施した。標本は、冷凍保存し解凍後に体長、体重等を計測した。過去 25 年（2000 年～2024 年）の標本の体長体重関係から求めた体重の期待値（ $g = 2.52 \times 10^{-6} \times \text{体長} \text{ (mm)}^{3.42}$ ）と実測体重の比から肥満指数を求め、肥満状況の指標とした。年齢査定は鱗の輪紋の乱れを観察することにより行った。

3. 結果

年齢構成は、0 歳魚が 2,788 尾で 94.51%、1 歳魚が 124 尾で 4.20%、2 歳魚が 36 尾で 1.22%、3 歳魚が 2 尾で 0.07%であった（不明 2 尾）。過年度の結果も含めて図 1 に示した。2024 年は 0 歳魚の割合が高く、1 歳以上の割合が多い近年の状況は見られなかった。

0 歳魚の平均体長は 71.46 ± 7.10 (平均±標準偏差)mm であった。過年度の結果も含めて図 2 に示した。2024 年は極めて小さく 2004 年以降で最も小型であった。

肥満指数は 2016 年以降低い値で推移しており、2024 年は特に低く（図 3）、漁業者からも痩せているとの声が聞かれた。

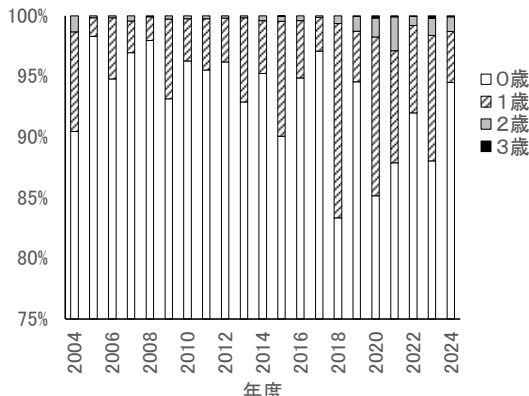


図 1 沖曳網で漁獲されたホンモロコの年齢構成

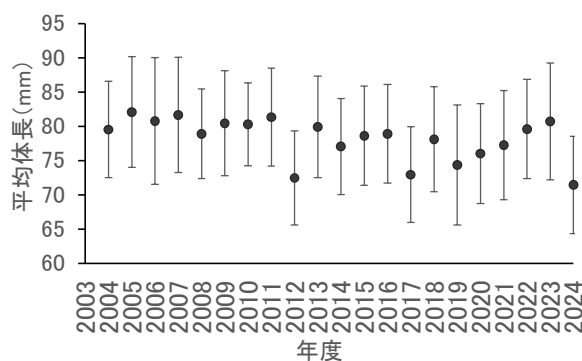


図 2 冬季に沖曳網で漁獲されたホンモロコ 0 歳魚の平均体長 ※エラーバーは標準偏差

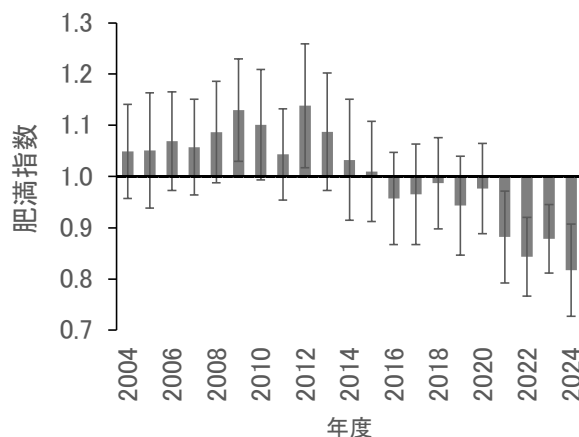


図 3 冬季に沖曳網で漁獲されたホンモロコ 0 歳魚の肥満指数 ※エラーバーは標準偏差

本研究は水産庁からの委託事業「水産資源調査・評価推進委託事業」の一部として実施した。